

地 球 温 暖 化 対 策 実 施 状 況 書

1 地球温暖化対策事業者の概要

地球温暖化対策事業者 （届出者）の名称	中部地方整備局
地球温暖化対策事業者 （届出者）の住所	名古屋市中区三の丸二丁目 5－1
工場等の名称	名古屋合同庁舎第 2 号館
工場等の所在地	名古屋市中区三の丸二丁目 5－1
業種	公務その他
業務部門における 建築物の主たる用途	事務所
建築物の所有形態	自社ビル等（自ら所有し自ら使用している建築物）
事業の概要	公務
計画期間	令和3年4月1日 ～ 令和6年3月31日

2 地球温暖化対策実施状況書の公表方法等

公表期間	～		
公表方法	○	揭示 閲覧	（場 所） 名古屋合同庁舎第 2 号館
		ホーム ページ	（HPアドレス）
		冊 子	（冊子名・ 入手方法）
		その他	（その他詳細）
公表に係る問合せ先	052-953-8120		

3 地球温暖化対策の推進に関する方針及び推進体制

(1) 地球温暖化対策の推進に関する方針

別紙1のとおり

(2) 地球温暖化対策の推進体制

別紙2のとおり

4 温室効果ガスの排出の状況

計画期間 3 年度目（令和 5 年度）の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		1, 326	t-CO ₂
（温① 二室を 酸効除 化果く 炭ガ 素換 排出 算）量	②非エネルギー起源二酸化炭素（③を除く。）		t-CO ₂
	③廃棄物の原燃料使用に伴う非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO ₂
	④メタン		t-CO ₂
	⑤一酸化二窒素		t-CO ₂
	⑥ハイドロフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑦パーフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑧六ふっ化硫黄		t-CO ₂
	⑨三ふっ化窒素		t-CO ₂
	⑩エネルギー起源二酸化炭素（発電所等配分前）		t-CO ₂
	温室効果ガス総排出量（①～⑩合計）	1, 326	t-CO ₂

5 温室効果ガス排出量の抑制に係る目標の達成状況

（1）温室効果ガス排出量の抑制目標の達成状況

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	総排出量
------------------	------

項 目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績					
	令和 2 年度		令和 5 年度		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度			
温室効果ガス 総 排 出 量	1, 528	t-CO ₂	1, 375	t-CO ₂	1, 258	t-CO ₂	1, 392	t-CO ₂	1, 326	t-CO ₂
削減率（対 基準年度）			10. 0	%	17. 6	%	8. 9	%	13. 2	%
温室効果ガス みなし総排出量						t-CO ₂		t-CO ₂		t-CO ₂
削減率（対 基準年度）						%		%		%

項 目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績					
	令和 2 年度		令和 5 年度		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度			
原単位あたりの 排 出 量										
削減率（対 基準年度）				%		%		%		%
原単位あたりの みなし排出量										
削減率（対 基準年度）						%		%		%

（2）進捗状況に対する自己評価（目標の達成／非達成の理由）

目標の削減率 10 % を達成することができた。引き続き削減率を達成できるよう努めていきたい。

備考 1 温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。

備考 2 温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排出量の合算をいいます。

備考 3 原単位あたりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量あたりの温室効果ガス排出量をいいます。

備考 4 温室効果ガスみなし総排出量とは、温室効果ガス総排出量に対し、クレジット等の環境価値に相当するもの及び再生可能エネルギー等の利用による温室効果ガスの削減量等を調整したものをいいます。

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況

(1) 自らの事業活動に伴い排出される温室効果ガスの抑制に係る措置の実施状況

取組の区分	具体的な取組の内容	取組の目標	取組の実施状況
一般管理 ・管理体制の整備	・組織横断的な委員会等の設置 ・取組状況等の確認、評価、見直し		実施済み
一般管理 ・エネルギー使用等の把握及び管理	・エネルギー使用量の把握、計測、記録、分析 ・主要設備等の点検、検査措置の記録、管理		実施済み
省エネルギー・ 省資源の推進・ 冷暖房	・クールビズ、ウォームビズの推奨 ・設備の運転時間、温度の管理		実施済み
省エネルギー・ 省資源の推進・ 照明	・LED器具、人感センサー内蔵器具等への更新 ・休憩時間の室内照明の消灯、執務室内照明の一部消灯 ・廊下、待合コーナー、エレベーターホール照明の間引き		実施済み
省エネルギー・ 省資源の推進・ OA機器	・パソコン、プリンター、コピー機等の未使用時における主電源のオフ		実施済み
省エネルギー・ 省資源の行動の 実践・その他	・エレベーターの台数制御 ・湯沸かしポット利用後の電源オフ		実施済み

（２）再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用の状況

ア 計画期間 3 年度目（令和 5 年度）における利用の状況

導入年度	設備等の種類	概要（規模、性能、発生エネルギー量等）
平成 2 1 年度	太陽光発電設備	最大出力34 k w、年間発電量約3.9万 k w h

イ 上記のうち、他のものに供給した電力及び熱

区 分	再生可能エネルギーの種類	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
電 力		t-CO ₂
熱		t-CO ₂

（３）環境価値（クレジット等）の活用の状況

計画期間 3 年度目（令和 5 年度）におけるクレジット等の利用

クレジット等の種類	創出地	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂

(4) みなしの排出量の算定に利用した温室効果ガス換算量(みなしの削減量)の合計

	t-CO ₂
--	-------------------

(5) その他の地球温暖化対策に係る措置の実施状況

給湯室の熱湯栓の運用時間を見直した。

(6) 「環境保全の日」等に特に推進すべき取組の実施状況

特になし